



2017年度日本水文科学会総会 次第

日時：2017年9月30日(土) 16:20～17:20

場所：駒澤大学深沢キャンパス

120周年アカデミーホール

報告事項

- | | |
|------------------|-------|
| (1) 2016年度事業報告 | (資料1) |
| (2) 2016年度決算報告 | (資料2) |
| (3) 2016年度会計監査報告 | (資料3) |

審議事項

- | | |
|-----------------|-------|
| (1) 2017年度事業計画 | (資料4) |
| (2) 2017年度予算案 | (資料5) |
| (3) 名誉会員候補者について | (資料6) |

その他

資料1 2016年度事業報告

A 庶務委員会

(1) 会員管理【国際文献社委託事務】

(2017年3月31日現在)

年度末	名誉会員	正会員			学生	小計	賛助会員	購読会員
		一般Web	シニアWeb	永年				
2016年度	10名	127名 39名	10名 2名	2名	7名	197名	4機関	12機関※

※書店卸：取引6件（部数合計12部）、寄贈6件、広告1件：準会員1名

(2) 会誌・その他の連絡物の発送【国際文献社委託事務】

発送回数	発送先	発送内容	発行年月日
第1回	一斉発送	学会誌46(2)	2016年 8月28日
第2回	一斉発送	学会誌46(3)	2016年12月28日

(3) バックナンバーの管理・販売

年度	販売件数	販売冊数	販売金額
2016	1件	9冊	13,500円

(水文科学会誌9冊, 13,500円)

(4) 事務業務の一部外部委託

契約・委託先・委託期間	委託内容	金額（年額）
(株)国際文献社：	庶務事務・会計事務の一部	549,160円
さくらのレンタルサーバスタンダード	学会ホームページ学会メールアドレス・メーリングリスト等	5,142円

(5) その他

B 会計委員会

(1) 会費の徴収

(2) 会務に伴う出納処理

- ・各種請求書類の発行

(3) 会費納入率の向上への取り組み

- ・会費未納者あてに督促状を送付

(4) その他

会計業務の一部外部委託（国際文献社）

C 編集委員会

(1) 会誌の発行

巻	号	発行年月日	掲載数	
46	2	2016年8月28日	12	巻頭言×1, 特集序文×1, 特集総説×3, 特集講演再録×1, 特集論文×2, 特集研究ノート×1, 書評×1, 報告×2
46	3	2016年12月28日	8	研究ノート×2, 論文×2, 特集序文×1, 特集論文×2, 学会記事×1

※掲載数には、巻頭言、総説、論文、研究ノート、資料、企画、討論、講演再録、報告、書評・紹介、学会記事、その他を含む。

(2) 投稿受付・査読審査状況：2016年度：投稿6（1件は新規に再投稿）、掲載3、査読中2、*特集号原稿を除く

(3) 水文科学会誌オンライン公開 2016年度 Vol. 46. No. 2～Vol. 46. No. 3
(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jahs/-char/ja/>)

D 集会委員会

(1) 総会の開催

2016年度 2016年10月15日(土)18時00分～19時00分（法政大学）

(2) 学術大会の開催

2016年度 2016年10月15日(土)～16日(日)（法政大学）合計74名（一般会員46名，その他28名（非会員6名，展示企業関係者7名，一般聴講者3名，中高生・引率教員12名））

(3) 公開合同シンポジウム「水に関する環境変動と自然災害」（大会実行委員会と協力，共催：陸水物理研究会），公開シンポジウム「身近な水環境と水文科学—学官産民の連携と水環境保全—」（大会実行委員会に協力）の開催

(4) 学術大会発表申込・要旨原稿投稿のweb受付の継続と改良（2008年度大会より）

(5) 学術大会における優秀発表賞の選考及び表彰

2016年度優秀発表賞（口頭発表：利部慎（長崎大）「地下水の水質・同位体・年代トレーサーに基づくタンザニア内陸部の岩盤地下水流動特性について」，ポスター発表：清水裕太（農研機構）「流域スケールでの水・土砂流出に及ぼす耕作放棄地の影響評価」）

E 広報・企画委員会

(1) 研究ワーキンググループ募集

- ・水文科学のためのSWATモデル高度化に関するワーキンググループの設置
代表研究者 清水裕太（農研機構）

(2) 災害時緊急調査補助金募集

- ・熊本地震が地下水流動に与える影響調査WG 代表研究者 一柳錦平（熊本大）

(3) 地球惑星科学連合大会での水循環セッション

- ・樋口篤志（A-HW17：水水学会），長尾誠也，林武司，内田洋平（水文科学会）

- (4) 地球惑星科学連合大会（2016年5月22～26日）での他のセッションの開催
- ・ A-HW18 安原正也 同位体水文学2016
 - ・ A-HW19 林 武司 都市域の地水環境
 - ・ A-HW16 小野寺真一 流域生態系の水及び物質の輸送と循環一源流域から沿岸域まで（代表は吉川省子）
- (5) 地球惑星科学連合各種委員会委員の派遣・推薦（任期：～2018.4.30）
- ・ 代表者 (会長) 嶋田 純
 - ・ 事務局 (庶務委員長) 杉田 文
 - ・ 連絡委員 (企画委員長) 町田 功
 - ・ 環境・災害対応委員会 (学会推薦) 林 武司
 - ・ 教育検討委員 (学会推薦) 上村剛史
 - ・ プログラム委員会 (学会推薦) 町田 功
 - ・ 新ジャーナル編集委員会 (学会推薦) 杉田 文
- (6) CPDポイントの取得に関する整備
- ・ 管理者用CPD登録（ジオスクリーンネット）、周知
 - ・ 水文科学会会員向けCPD登録に関する周知（MLとHP）
 - ・ 学術大会にてCPDポイント発行（4名）
- (7) 学会ホームページ
- ・ ウェブページのリニューアル（2016年8月）
 - ・ 迅速なウェブへのアップ体制の構築（即日～翌日対応）
 - ・ アクセス数の向上（2015年カウント開始，2016年8月：2200，2017年4月12日：10000，9月21日：13500）
- (8) HRL合同誌について
- ・ 合同誌準備委員会（完了）→2017年4月 運営委員会（林 武司）
- (9) 新企画「水文誌ミニ巡検」開催： 新見 治（香川大学），嶋田 純
- (10) その他（庶務との連携）
- ・ 会員専用ページ（マイページ）の充実
 - ・ 水文科学会誌早期公開（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jahs/>）

F 学会賞選考委員会（2016年度）

a) 研究奨励賞

- 萩原大樹 会員（日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 福島環境安全センター）
- 宮本拓人 会員（北海道大学 大学院理学院 自然史科学専攻）

b) 学術賞

対象者なし

c) 功績賞

対象者なし

資料2

2016年度収支計算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

I. 収入の部

勘定科目		当年度予算額 A	収入済額 B	差 B-A	備考
大科目	小科目				
会費収入	正会員（一般）会費	¥ 1,160,000	¥ 1,352,000	¥ 192,000	会費¥8,000
	正会員（一般web）会費	¥ 128,000	¥ 145,000	¥ 17,000	会費¥4,000
	正会員（シニア）会費	¥ 24,000	¥ 48,000	¥ 24,000	会費¥4,000
	正会員（永年）会費	¥ —	¥ —	¥ —	会費¥1,000
	正会員（永年web）会費	¥ —	¥ —	¥ —	
	学生会費	¥ 8,000	¥ 5,000	¥ - 3,000	会費¥1,000
	準会員会費	¥ —	¥ 3,000	¥ 3,000	会費¥1,000
	購読会員会費（書店販売含む）	¥ 254,000	¥ 285,000	¥ 31,000	
	賛助会員会費	¥ 100,000	¥ —	¥ - 100,000	一口¥20,000
小計		¥ 1,674,000	¥ 1,838,000	¥ 164,000	
大会収入	大会収入	¥ 140,000	¥ 292,348	¥ 152,348	発表要旨集売上など
雑収入	利息収入	¥ 4,000	¥ 480	¥ - 3,520	
	学会データベース	¥ 40,000	¥ 18,630	¥ - 21,370	著作権料
	バックナンバー売り上げ	¥ 10,000	¥ 680	¥ - 9,320	
	広告ほか	¥ 100,000	¥ 150,000	¥ 50,000	広告料
	寄付金	¥ —	¥ —	¥ —	
小計		¥ 154,000	¥ 169,790	¥ 15,790	
科目計		¥ 1,968,000	¥ 2,300,138	¥ 332,138	
前期繰越収支差額		¥ 4,710,264	¥ 4,710,264	¥ —	
合計		¥ 6,678,264	¥ 7,010,402	¥ 332,138	

Ⅱ. 支出の部

勘定科目		当年度予算額	支出済額	残額	備考
大科目	小科目	A	B	A-B	
大会支出	大会補助	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ —	規定額
	大会追加補助	¥ —	¥ —	¥ —	
	プログラム, ポスター, 要旨集印刷費	¥ 110,000	¥ 88,776	¥ 21,224	要旨集印刷代
	総会・シンポジウム	¥ —	¥ —	¥ —	
	人件費	¥ —	¥ —	¥ —	
	通信運搬費	¥ —	¥ —	¥ —	
	交通費	¥ 30,000	¥ —	¥ 30,000	非会員講演交通費
小計		¥ 240,000	¥ 188,776	¥ 51,224	
会誌発行費	会誌印刷費	¥ 1,400,000	¥ 1,165,352	¥ 234,648	46巻2号, 3号 (2冊), 編集業務
	通信運搬費	¥ 103,000	¥ 46,562	¥ 56,438	46巻2号, 3号 (2冊) 送料
	人件費	¥ —	¥ —	¥ —	
	交通費	¥ 120,000	¥ —	¥ 120,000	
	会議費	¥ 16,000	¥ —	¥ 16,000	
	消耗品費	¥ 3,000	¥ —	¥ 3,000	
	謝金	¥ 6,000	¥ 4,000	¥ 2,000	非会員査読 (図書カード)
小計		¥ 1,648,000	¥ 1,215,914	¥ 432,086	
管理費	人件費	¥ —	¥ —	¥ —	
	印刷費	¥ —	¥ 23,814	¥ - 23,814	封筒印刷代
	通信運搬費	¥ 20,000	¥ 50,594	¥ - 30,594	総会通知送料, レンタルサーバー, FAXサービス
	消耗品費	¥ 2,000	¥ 10,400	¥ - 8,400	委任状用はがき代
	会議費	¥ 16,000	¥ —	¥ 16,000	
	交通費	¥ 5,000	¥ 208,524	¥ - 203,524	委員会交通費
	業務委託費	¥ 560,000	¥ 549,160	¥ 10,840	
	会費収納経費	¥ 5,000	¥ 102,862	¥ - 97,862	HPリニューアル, 振込手数料
雑費	¥ 608,000	¥ 945,354	¥ - 337,354		
小計		¥ —	¥ —	¥ —	
選挙費	選挙実行経費	¥ —	¥ —	¥ —	
	名簿作成	¥ —	¥ —	¥ —	
小計		¥ —	¥ —	¥ —	
その他	ワーキンググループ補助ほか	¥ 50,000	¥ 160,000	¥ - 110,000	災害時緊急調査補助金, ジオ・スクーリングネット運営費
	地球惑星科学連合年会費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ —	地球惑星科学連合年会費
	表彰費	¥ 20,000	¥ 37,900	¥ - 17,900	表彰記念品代
小計		¥ 80,000	¥ 207,900	¥ - 127,900	
科目計		¥ 2,576,000	¥ 2,557,944	¥ 18,056	
次年度繰越金額		¥ 4,102,264	¥ 4,452,458	¥ - 350,194	
合計		¥ 6,678,264	¥ 7,010,402	¥ - 332,138	

2016年度貸借対照表

2017年3月31日時点

勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
預金		未払金	¥63,876
ジャパンネット銀行	¥ 2,962,654	負債合計	¥ 63,876
ゆうちょ銀行	¥ 1,553,680	III 正味財産の部	
		前期繰越正味財産	¥ 4,710,264
		当期正味財産増加額	¥ - 257,806
		正味財産合計	¥ 4,452,458
資産合計	¥ 4,516,334	負債及び正味財産合計	¥ 4,516,334

平成 29 年 6 月 7 日

日本水文科学会 会長 殿

日本水文科学会
平成 28 年度会計監査委員

杉田倫明



会計監査報告書

監査委員は、監査証明を行うため日本水文科学会平成 28 年度の会計報告に関する収支計算書、帳簿等を監査しました。


監査の結果、収支計算書は平成 29 年 3 月 31 日現在の収支状況を適正に表示しているものと認めました。その他の監査意見は以下の通りです。

1. 予算と実際の支出の差が大きい項目がある。これについては、総会等において一般会員向けに説明が必要と思われる。
2. 支出の中に最終受領者までたどれないものがあつた。
3. 事業計画に無い項目、内容が異なる支出がある。これについては、総会等において一般会員向けに説明が必要と思われる。なお、計画に無い項目の支出は予備費からの支出とするのが順当と思われる。
4. 収支計算書の支出の部「予備費」は、予備費としての実際の支出額ではなく、次年度への繰越金額を表しているらしい。費目名を変えた方が良いのではないか。
5. 正味財産の 6%ほどが 2016 年度に減少している。毎年このような赤字が続くと、今後学会を持続的に運用できなくなる可能性が高い。総会等において一般会員向けに現状、今後の見通しと対応策を説明する必要と思われる。
6. 同じ項目について未払い金が多額に出る。これを次年度のはじめに支払う仕組みのようであるが、これは会計年度の考えに照らせば改善すべきである。

平成 29 年 4 月 30 日

日本水文科学会 会長 殿

日本水文科学会
平成 28 年度会計監査委員

志田 誠 

会計監査報告書

監査委員は、監査証明を行うため日本水文科学会平成 ²⁸~~27~~ 年度の会計報告に関する収支計算書、帳簿等を監査しました。

監査の結果、平成 29 年 3 月 31 日現在の収支状況を適正に表示しているものと認めました。

資料4 2017年度事業計画

A 庶務委員会

- (1) バックナンバーの管理・販売
- (2) 学会メーリングリストの管理
- (3) 会員名簿の管理【国際文献社委託事務】

【契約項目】

契約・委託先	委託内容	期間	金額（年額）
(株)国際文献社	庶務事務・会計事務の一部 (諸経費含む)	2017.04.01～2018.03.31	560,000円
さくらのレンタルサーバ スタンダード	学会ホームページ開設	2017.04.01～2018.03.31	6,000円

B 会計委員会

- (1) 会費の徴収（8月）
- (2) 会務に伴う出納処理
- (3) 会費未納者への督促（12月）

C 編集委員会

- (1) 会誌の発行：第47巻1号から第47巻3号（3冊）
- (2) HRL運営委員会への委員派遣 林 武司

D 集会委員会

- (1) 総会の開催
2017年9月30日(土)午後（駒澤大学）（予定）
- (2) 学会設立30周年記念大会の開催
2017年9月30日(土)～10月1日(日)（駒澤大学）
- (3) 30周年記念シンポジウム「持続可能な未来地球に貢献する水文学のあり方を考える
一次世代の水文学が取り組むべき課題とは」 記念事業実行委員会、大会実行委員会と協力して開催
- (4) 学術大会発表申込・要旨原稿投稿のweb受付の継続と改良（2008年度大会より）
- (5) 学術大会における優秀発表賞の選考及び表彰

E 広報・企画委員会

- (1) 研究ワーキンググループ募集
・水文学のためのSWATモデル高度化に関するワーキンググループの設置
代表研究者 清水裕太（農研機構）【2年目】
- (2) 災害時緊急調査補助金募集
・なし
- (3) 地球惑星科学連合大会での水循環セッション担当（A-HW34）
・今年 Water cycle characterization with numerical modelling and isotope tracer techniques と共同（4学会+1：林 武司（代表コンピーナ：地下水学会・秋田大）、長尾誠也（地球化学会・金沢

大), 飯田真一 (水文・水資源学会・森林総研), 町田 功 (水文科学会・産総研), Gussyev Maksym (土木研)

(4) 地球惑星科学連合大会での他のセッションの開催

- ・ A-HW35 安原正也 同位体水文学2017
- ・ A-HW36 林 武司 都市域の水環境と地質

(5) 地球惑星科学連合各種委員会委員の派遣・推薦 (～2018.4.30)

- ・ 代表者 (会長) 嶋田 純
- ・ 事務局 (庶務委員長) 杉田 文
- ・ 連絡委員 (企画委員長) 町田 功
- ・ 環境・災害対応委員会 (学会推薦) 林 武司
- ・ 教育検討委員 (学会推薦) 上村剛史
- ・ プログラム委員会 (学会推薦) 町田 功

(6) CPD ポイント

- ・ 水文科学会内外への周知
- ・ 受講証明書は会場配布のみに変更 (以後, ジオスクーリングネットは発行しない)
- ・ 学術大会にてCPD ポイント発行

(7) 学会ホームページ

- ・ 迅速なアップの体制
- ・ 各ページのブラッシュアップ (ご挨拶, 学会について, 補助金, 会誌への投稿)
- ・ 学会新企画と議事録ページの追加

(8) 新企画 「水文誌ミニ巡検」(2016年度開始:2回目)に続き, 初学者向けセミナー「はじめてのタ
ンクモデル」を開催 (町田 功・井川怜欧 (産総研))

(9) その他 (庶務との連携)

- ・ マイページに補助金関連アップ, 会告・学会記事アップ

F 学会賞選考委員会

(1) 2017年度 学会賞選考委員会・委員の改選

(2) 学術賞の選考

(3) 研究奨励賞の選考

(4) 功績賞の選考

資料5 予算案

2017年度予算書(案)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

I. 収入の部

勘定科目		当年度予算額	前年度予算額	差	備考
大科目	小科目	A	B	A-B	
会費収入	正会員（一般）会費	¥ 1,064,000	¥ 1,160,000	¥ - 96,000	会費¥8,000 *133名分
	正会員（一般web）会費	¥ 152,000	¥ 128,000	¥ 24,000	会費¥4,000 *38名分
	正会員（シニア）会費	¥ 36,000	¥ 24,000	¥ 12,000	会費¥4,000 *9名分
	正会員（永年）会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥50,000
	正会員（永年web）会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥20,000
	学生会費	¥ 7,000	¥ 8,000	¥ - 1,000	会費¥1,000 *7名分
	準会員会費	¥ 1,000	¥ -	¥ 1,000	会費¥1,000 *1名分
	購読会員会費（書店販売含む）	¥ 156,000	¥ 254,000	¥ - 98,000	購読¥14,000*6（書店¥12,000*6）
	賛助会員会費	¥ 80,000	¥ 100,000	¥ - 20,000	一口¥20,000 *4
小計		¥ 1,496,000	¥ 1,674,000	¥ - 178,000	
大会収入	大会収入	¥ 190,000	¥ 140,000	¥ 50,000	発表要旨集売上など
雑収入	利息収入	¥ 500	¥ 4,000	¥ - 3,500	
	学会データベース	¥ 20,000	¥ 40,000	¥ - 20,000	
	バックナンバー売り上げ	¥ 2,000	¥ 10,000	¥ - 8,000	
	広告ほか	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	広告, 別刷など
	寄付金	¥ -	¥ -	¥ -	
小計		¥ 122,500	¥ 154,000	¥ - 31,500	
科目計		¥ 1,808,500	¥ 1,968,000	¥ - 159,500	
前期繰越収支差額		¥ 4,452,458	¥ 4,710,264	¥ - 257,806	
合計		¥ 6,260,958	¥ 6,678,264	¥ - 417,306	

Ⅱ. 支出の部

勘定科目		当年度予算額	前年度予算額	差	備考
大科目	小科目	A	B	A-B	
大会支出	大会補助	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	規定額
	大会追加補助	¥ 100,000	¥ -	¥ 100,000	
	プログラム、ポスター、要旨集印刷費	¥ 110,000	¥ 110,000	¥ -	要旨集印刷代
	総会・シンポジウム	¥ -	¥ -	¥ -	会場等
	人件費	¥ -	¥ -	¥ -	総会・集会委員会
	通信運搬費	¥ -	¥ -	¥ -	
	交通費	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ -	非会員講演旅費
	小計		¥ 340,000	¥ 240,000	¥ 100,000
会誌発行費	会誌印刷費	¥ 1,050,000	¥ 1,400,000	¥ - 350,000	年3冊，編集業務
	通信運搬費	¥ 77,250	¥ 103,000	¥ - 25,750	会誌送料
	人件費	¥ -	¥ -	¥ -	校正等
	交通費	¥ -	¥ 120,000	¥ - 120,000	編集委員会開催時旅費
	会議費	¥ 16,000	¥ 16,000	¥ -	編集委員会（会議室料）
	消耗品費	¥ 3,000	¥ 3,000	¥ -	編集用消耗品
	謝金	¥ -	¥ 6,000	¥ - 6,000	非会員査読（図書カード）
小計		¥ 1,146,250	¥ 1,648,000	¥ - 501,750	
管理費	人件費	¥ -	¥ -	¥ -	アルバイト代
	印刷費	¥ 20,000	¥ -	¥ 20,000	学会封筒印刷等
	通信運搬費	¥ 60,000	¥ 20,000	¥ 40,000	郵便・電話・FAX・Email
	消耗品費	¥ 2,000	¥ 2,000	¥ -	庶務・会計消耗品
	会議費	¥ 16,000	¥ 16,000	¥ -	評議委員会（会議室料）
	交通費	¥ 70,000	¥ 5,000	¥ 65,000	庶務・企画委員会+会計引継ぎ
	業務委託費	¥ 560,000	¥ 560,000	¥ -	業務委託費
	雑費	¥ 5,000	¥ 5,000	¥ -	振込手数料
小計		¥ 733,000	¥ 608,000	¥ 125,000	
選挙費	選挙事務委託費	¥ -	¥ -	¥ -	
	名簿印刷	¥ -	¥ -	¥ -	
小計		¥ -	¥ -	¥ -	
その他	ワーキンググループ補助ほか	¥ 100,000	¥ 50,000	¥ 50,000	ワーキンググループ
	地球惑星科学連合年会費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -	
	HRL分担金	¥ 100,000	¥ -	¥ 100,000	
	ジオスクリーニングネット運営費	¥ 60,000	¥ -	¥ 60,000	
	表彰費	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ -	表彰記念品代
小計		¥ 290,000	¥ 80,000	¥ 210,000	
科目計		¥ 2,509,250	¥ 2,576,000	¥ - 66,750	
次年度繰越額		¥ 3,751,708	¥ 4,102,264	¥ - 350,556	
合計		¥ 6,260,958	¥ 6,678,264	¥ - 417,306	

資料6

田中 正 会員を名誉会員候補者とする推薦文

田中 正 正会員は、本学会の前身であるハイドロロジー談話会において会員および評議員として活躍され、以後、水文学研究会、日本水文科学会に至り、延べ7期にわたり評議員を務め、本会の創成期の基盤確立とともに今日まで本会の発展に精力的に続けてこられました。また、本学会のみならず、日本地理学会編集専門委員、同代議員、日本地下水学会評議員、水文・水資源学会副会長、国際水文科学会トレーサー委員会副委員長等、水文学に係わる内外の主要学協会において重責を務めてこられました。

さらに、中央環境審議会専門委員、日本学術会議陸水研連絡委員会委員（幹事）、文部科学省日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会（IHP対応）調査委員、国土交通省今後の地下水利用のあり方に関する懇談会委員、環境省地盤沈下対策評価検討調査検討会委員、東京都環境審議会委員、東京都地下水対策検討委員長、茨城県自然環境保全審議会委員等を歴任し、我が国の地下水・水資源政策を学術的に支えてこられました。

田中 正 正会員は、1973年に東京教育大学助手に着任以降、筑波大学講師、同助教授、同教授として奉職するとともに、同大陸域環境研究センター長を歴任しました。この間、内外のフィールドにおいて土壌水・地下水の挙動、降雨流出、生態水文学に関する研究等に専心するとともに、近年は地下水ガバナンスに関する研究・政策に関連し重要な役割を果たしておられます。

以上のように、田中 正 正会員は本会の発展のみならず、我が国の水文学界にとっても、特に顕著な功績があったものと認め、本会の名誉会員として適格と判断し、名誉会員候補として推薦致します。

2017年度日本水文科学会名誉会員候補者推薦委員会

参考

田中 正 会員 日本水文科学会 経歴

任期不明	ハイドロロジー談話会	常任委員（現会則では評議員に相当）
～1984年3月	水文学研究会	運営委員（同上）編集委員
1984年4月～1986年3月	水文学研究会	評議員（同上）編集委員
1986年4月～1988年3月	水文学研究会	評議員 庶務委員（1987年以降水文科学会）
1988年4月～1990年3月	日本水文科学会	評議員 常任委員 庶務委員長
1990年4月～1992年3月	日本水文科学会	評議員 常任委員 庶務委員長
1992年4月～1995年3月	日本水文科学会	評議員
1995年4月～1998年3月	日本水文科学会	評議員 常任委員 企画委員長
2004年4月～2007年3月	日本水文科学会	会計監査委員

横山尚秀 会員を名誉会員候補者とする推薦文

横山尚秀 正会員は、本学会の前身である水文学研究会から会員として参加され、水文学研究会の運営委員1期（3年）、旧水文科学会の評議員1期（2年）と新水文科学会の評議員2期（6年）の合計4期（11年）に渡り、本会の創成期の基盤確立とともに今日まで本会の発展に精力的に続けてこられました。また、水文学研究会及び旧水文科学会において長く編集委員を務められ、旧水文科学会の評議員時代には、編集委員長も務められました。

研究の面においては、1969年に神奈川県温泉研究所（現温泉地学研究所）に奉職し、足柄平野の地下水賦存特性と自噴帯についての研究や、神奈川県内の地下水流動解析など、神奈川県における地下水流動研究において、先駆的な役割を果たされ、その後も発展させて来られました。

横山尚秀 正会員は神奈川県の職員として、行政の現場において、その水文学にかかわる知識を活かし、健全な水利用、水循環の構築に大きな役割を果たされました。また、千葉大学理学部地球科学科における「地球科学技術者倫理」を担当し、その経験を学生に伝える等、教育においても大きく貢献されています。

以上のように、横山尚秀 正会員は本会の発展のみならず、我が国の水文学界にとっても、特に顕著な功績があったものと認め、本会の名誉会員として適格と判断し、名誉会員候補として推薦致します。

2017年度日本水文科学会名誉会員候補者推薦委員会

参考

横山尚秀 会員 日本水文科学会 経歴

～1984年3月 水文学研究会 運営委員（現会則では評議員に相当）
1986年4月～1988年3月 水文学研究会 編集委員（1987年以降水文科学会）
1988年4月～1990年3月 日本水文科学会 編集委員
1990年4月～1992年3月 日本水文科学会 評議員 常任委員 編集委員長
1992年4月～1995年3月 日本水文科学会 評議員 常任委員 企画委員長
1995年4月～1998年3月 日本水文科学会 評議員
2010年4月～2013年3月 日本水文科学会 会計監査委員
2013年4月～2016年3月 日本水文科学会 学会賞選考委員

資料7

2017年度日本水文科学会総会 議事録

日時：2017年9月30日(土) 16:20～17:20

場所：駒澤大学深沢キャンパス 120周年アカデミーホール

開会に先立ち、定足数の確認を行い、出席33名、委任状80名、計111名の参加により、定足数（正会員の5分の1；2017年3月31日現在の会員数199に対し定足数40名以上）を満たしたことから、会の成立を確認した。

推薦により、林 武司正会員を議長に選出した。

報告事項 議題(1)～(3)について、資料を基に事務局から説明を行い、了承された。

審議事項 議題(1)～(3)について、資料を基に、事務局から提案を行い、質疑応答の後、承認された。

その他

事務局より、学会活動活性化のための企画として第2回「水文誌ミニ巡検」と「初学者（技術者）向けセミナー」の開催案内があった。